

第6回 岡崎伝心プロジェクト記録

◆テーマ

「幅広い世代のたくさんの人に、^{でんとうげいのう}伝統芸能の楽しさを知ってもらうための
作戦を考える」

◆開催概要

日時：2026年2月1日（日）9:30-12:00

会場：岡崎市図書館交流プラザ りぶら

◆参加者

こども委員：8名 大学生ボランティア：4名 大人スタッフ：10名

◆会議の内容

[1] 岡崎市からのフィードバック

まず、前回の発表を映像で振り返ってから、担当の文化振興課からのフィードバックがありました。

3チームの発表をどのように受け止め、それをどのように今後の広報活動に活かしていくのかを、他都市の事例も交えながら説明されました。委員たちは、自分たちの意見が市の事業に^{えいさう}影響を及ぼす可能性があることを改めて知り、今後も関わっていきたいという思いを強くし、事後のアンケートのこれからどのような分野について考えていきたいですかという質問にも、具体的に例を挙げて答えていました。



[2] お疲れ様パーティー

最後は乾杯です。お菓子を食^{かんぱい}べながら、楽しかったねー、と話していました。一緒に意見交換をする中で、良い仲間ができました。

話をしながら、大きな模造紙に今の気持ちを書きました。アンケートの中には、みんなで一緒に模造紙を書いたのが楽しかった、という意見も多くありました。それぞれが、しっかりと自分の言葉で、今の気持ちを言葉や絵で表現しました。ちょっと名残惜しい^{なごりお}雰囲気の中で、今回のワークショップは無事終了しました。



◆さいごに

今回の会議の中では、伝統芸能を幅広い世代に伝えるという、子ども・若者世代には実感がわきにくいテーマに取り組みました。最初はどうなるか少し心配でしたが、委員の皆さんは、このテーマをしっかりと自分ごととして捉え、主体的に取り組んでくれました。自分とは関係ないように思えること、^{きょうみ}興味の無いことに対しても、自分なりの方法で関わっていくことができるんだ、ということを実感する、良い機会になったのではないのでしょうか。

これをきっかけに、ぜひ、まちや地域、そして世界に目を向けて、自分の意見を届ける経験をしていってくれることを期待しています。また会いましょう。

